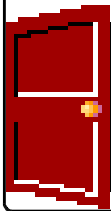


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No 64

桑村小学校令和5年10月31日 文責 渡邊

秋の夜をゆったり過ごす「親子読書の会」!!

10月26日(木)に、「親子読書の会」を行いました。
この夜はとても静かで、秋の夜の読書を親子で楽しみました。



【親子で読書を楽しむ】



【読書を楽しむ子供たち】



【校長と読書を楽しむ園児】

校長もこども園に通う園児と読書を楽しみました。男の子はちょっこり私の横の椅子に座り、持ってきた図鑑を広げました。そこには、いろいろな場所で使われている様々な標識の写真や図がそれを解説する文とともに載っていました。

この男の子がすごいんです。自分で解説文をぐいぐい読んでいくのです。漢字にはもちろん読み仮名がふってあるのですが、平仮名や片仮名、数字などを抵抗なく読み進めていくのです。

そして、写真や図から描いた標識のイメージを私に伝えてくるのです。すごいですよね。文字や数字を読むことのできるお子さんは、幼児という成長期でもいるかもしれません。しかし、標識から描いたイメージを自分なりに言葉で表現しようとするお子さんはそう多くはいないのではないのでしょうか。

きっと、このお子さんは、乳幼児期からお家の人による読み聞かせが行われていたのでしょうね。

この夜も学校応援団の鈴木さんが参加しました。鈴木さんは、下校後の本校児童の学習を見てくださる活動をずっと長きにわたり行っています。とてもありがたく思います。その鈴木さんが、「今日、この会に参加している1年のれいかさんは、私の用意した本を開いてバルーンアートを楽しんでいるのですよ。こうした子はめったにいません。本が好きだからこそ、それを手がかりに創作できるのですね。」と話してくれました。親子で楽しむ「親子読書の会」がこれからも続いていくとよいと強く思いました。

今回も、鈴木さんによる紙芝居と絵本の読み聞かせがありました。



【紙芝居の様子】



【絵本の読み聞かせの様子】



【紙芝居を楽しむ親子の様子】